



映画館通りにある映画館の1つ「中央映画劇場」は、このビルのおかげに2スクリーンをもつ



映画館通りの一角にある映画上映情報掲示板



1つのビルにルミエール1・2の2館が入っている



移転した「盛岡フォーラム」は、中心市街地のシネマコンプレックスとして再スタートした

●まちづくりと地域ブランドの現場から●

街を形作った映画館を核とする 盛岡ブランドの形成

映画館通り（盛岡市）

●ナビゲーター
いわてNPOフォーラム21

久木田 禎一 代表理事

映画館通りから街の再生を図る

現在の日本では、郊外型のショッピングセンターなどにある、一棟に多くのスクリーンを持つ「シネマコンプレックス（複合映画館）」が映画館の主流となっており、それに伴って従来の映画館は街中から消えつつある。だが、そうした流れに逆らい、いまだ市街地の中心部の一つの通りに一〇を越える映画館が残っているという、全国でも珍しい都市が盛岡市だ。映画館が建ち並ぶ通りを「映画館通り」と呼ぶだけあって、その映画館を核とした都市の再生も試みられている。その仕掛け人で、一〇年前から秋に行われる「みちのく国際ミステリー映画祭」も手がけてきたのがナビゲーターの「いわてNPOフォーラム21」の久木田 禎一代表理事である。

「昭和の初めまで、お城があった旧市街とJR盛岡駅の間には田畑しかありませんでした。そこに昭和一〇年、当時、東北一と言われた映画館ができ、これがきっかけとなって急速に街が形成された歴史があります。そこでそれを活かし、映画館通りを要とするまちづくりを考えました」その活動の一つに、二〇〇四年秋に行われた「盛岡シネマタウン社会実験フォーラム」がある。「国土交通省から受託し実施した事業で、歩いて楽しむ街」を目指して、一〇月に『オープンカフェスタ』というネーミングで、盛岡大通り商店街への一般車両の進入を禁止し、路上でのオープンカフェやイベントを催しました（久木田代表理事）。

特定非営利活動法人いわてNPOフォーラム21

【事務局】

〒020-0884 岩手県盛岡市神明町6-6-311

TEL 019-605-8271 FAX 019-605-8272

E-MAIL inf21@iwate-npo.net

URL <http://www.iwate-npo.net/inf21/>



東京駅を設計した辰野金吾が手がけた赤レンガも美しい「岩手銀行中ノ橋支店」は、国の重要文化財に指定されている



まちづくりのプロモーターとして、さまざまな事業に携わってきた、今回のナビゲーターの久木田 禎一 代表理事



旧第九十銀行の建物を利用して設けられた「もりおか啄木・賢治青春館」。レトロな外観は、盛岡市によく似合っている



盛岡市の美しい景観は、どこか「ホッ」とさせる。それは日本人の都市に対するイメージの原風景が残っているからかもしれない



どこか外国の風景をも思い起こさせる「映画館通り」

その背景には、これまで盛岡市が観光振興のために進めてきた「歩いて楽しむまち・盛岡」運動があった。「盛岡には今でも、石川啄木や宮沢賢治が愛した街並みが残っていますからそれを楽しんでいただくためには、ゆっくり歩いて観光をしていただくのが一番だと考えました。映画好きな人も多いことから、道路を歩行者に開放したら、映画鑑賞にも観光にも、どちらにもいいのではないかと考えたのです」と久木田代表理事は説明する。

結果は、利用者には好評だったが、道沿いの商店街からは、納品などが不便との声が出され、恒常的に行うまでにはまだ至っていない。だが城下町らしい、どこか懐かしい街並みが残る盛岡市。単館で映画を上演する昔ながらの映画館は、レトロな雰囲気を感じ、癒しの空間ともなっている。今回の取り組みをきっかけとした、新たな盛岡市のブランドの誕生が期待される。

(文責・CEL編集室)

CEL